

岐阜県職員倫理憲章 国際園芸アカデミー実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり国際園芸アカデミー実行計画を定めます。

平成30年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等について全体会議等を通して職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 職務上利害関係がある者との会食や遊技、金銭・贈答品の譲受等の行為については、「岐阜県職員倫理規程」にて規制されている旨、職員に徹底するとともに、職務上面談が必要な場合においても、応接室において、職員2人以上で対応することを原則とします。
- 教職員会議等において職場研修を実施し、公務、私生活を問わず、常に公僕であることを自覚するとともに、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が課されている現実について、職員の認識を深めます。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、毅然とした態度で臨み、職員個人や担当窓口だけでなく学校全体で対応するとともに、危機管理部門等関係課との連携を密にし、協働で対処します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 予算執行にあたっては、予算の使い切りをなくし、計画的かつ効率的な執行を行うとともに、徹底的な経費の縮減に努めます。
- 事務用品の使用状況を把握し、適正な在庫管理に努めるとともに、再利用の促進や、両面・縮小コピーの積極的な活用などにより、事務経費についても一層の縮減を図ります。
- 管理職を中心とした学校組織のマネジメントを強化し、服務規律の徹底を図るとともに、職員に時間管理の重要性を徹底し、効率的な職務の遂行により、時間外勤務の縮減に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- より質の高い授業を行うために、指導技術向上を図るために必要な専門的な知識や技術の習得をするなど、自己研鑽に努めます。
- 県立専修学校として、花と緑に関する専門的・実践的人材教育の質を高めるとともに、一般県民や産業界のニーズに合った生涯学習講座を開催します。
- 職員には、業務に直結する研修はもとより、業務に関連する研修等にも参加を促し、学生指導や学校運営に優れた能力を備えた人材の育成に努めます。
- 学生にとって有益な園芸に関する情報や就職情報を、新聞やインターネット等から積極的に収集し、教職員で情報を共有するとともに、学生への情報提供に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 各種危機管理対応マニュアルに基づき、不測の事態に備えた情報伝達や迅速な対応ができるよう学校内の危機管理体制を整備します。
- 日頃から学生や教職員間において良好なコミュニケーションを図ることにより、学生に関わる危機事案（不審な人物や出来事）をいち早く察知し、職員間で情報を共有し適切に対応することにより、問題発生や拡大を未然に防止します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、学長の統一的な指揮のもと、速やかな情報収集・報告・分析や、応急対策（被害の拡大防止、2次災害の防止等）の実施等に当たります。
- 危機管理広報事案については、県庁主務課及び広報課等と連携を図りながら、「岐阜県危機管理広報マニュアル」に則って、透明・正確・迅速な情報発信に努めます。
- 問題発生時には、徹底した原因究明を行うとともに、適切な再発防止策をまとめ、実行します。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 全体会議や教職員会議を通じて、学校運営に関する情報を職員が共有するとともに、課題や問

題点を解決するための自由闊達な議論を行います。

- 学長、副学長は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見交換ができる雰囲気づくりに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員に対して、地域活動等（地元の消防団や自治会、ボランティア活動など）への参加を奨励し、地域における対話を通じて県民との意思の疎通に努めます。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇の計画的な取得の促進等により、地域活動等が行いやすい職場環境づくりに努めます。
- 環境にやさしい物品の購入や、買い物時におけるマイバッグの持参等、地域においても、環境保全運動に率先垂範で取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 情報発信に当たっては、国際園芸アカデミーのホームページや地元の新聞社・放送局など、多様な広報媒体を効果的に活用するとともに、お役所言葉、専門用語など、形式的で堅苦しい表現を避け、県民目線で、誰にでも分かりやすい、丁寧な表現に心掛けます。
- 実践的な職業教育の質の向上に向け、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会を通じて、企業や業界関係者の意見を聴取し、次年度以降の学校運営や予算編成等に役立てます。
- 県民の皆様からの苦情や相談については、貴重な情報や意見であることから、真摯に耳を傾け、学校運営の見直しや授業の改善等に役立てます。